感染症関連

新型コロナウイルスについて

※海外安全ホームページ　広域情報９月２６日　（１０月１１日適用の水際対策措置）

●外国人の新規入国制限の見直し　※外国人観光客のパッケージツアー限定措置解除。
●査証免除措置の適用再開。
●検査等の見直し。
※入国時検査未実施、入国後の待機なし。出国前７２時間以内に受けた検査の陰性証明書の提出は、ワクチン（３回）未接種の場合のみに。
●入国者総数の管理の見直し　※１日の入国上限撤廃。

日本の状況：第８波到来との報道。すでに第７波のピークを越える過去最多を更新する地域も。
※東京の１日の感染者数は約１万人。
サウジの状況：１１月２０日～２３日に、１日当たりの新規感染者数は５０名前後。
リヤド・ジッダともに１日の新規感染者数は２０名弱と落ち着いている。
　ワールドカップ開催、年末に向け人の往来が増え感染者数が増加することが予想、感染対策にご留意。

サル痘について

※海外安全ホームページ　広域情報１１月１８日　ＮＥＷ

●ＷＨＯの１１月１６日付レポートによれば、これまで**世界１１０か国・地域で累計７９，４１１人の感染例及び５０人の死亡例が確認**。感染源とされるリスなどのげっ歯類が自然宿主。
●一般的には**発熱や発疹、リンパ節のはれ等の症状**が見られ２～４週間で自然治癒。感染経路は感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触（性的接触含む）が中心、患者との長時間、近距離で対面することでの飛沫感染も。予防措置として、症状がある人との接触回避、コロナ同様の手指消毒。

日本では７月２５日に１例目の感染が確認され１０月６日まで７例の感染者が報告。
サウジにおいては７月１４日に１例目の感染が確認され現在まで計３例発表。

ＭＥＲＳコロナウィルスについて

※海外安全ホームページ　広域情報１１月１７日　ＮＥＷ

●中東呼吸器症候群（ＭＥＲＳ）は、主に中東地域で発生。感染源動物とされるラクダとの接触や、ラクダの未加熱肉や未殺菌乳の摂取は避ける。
●感染した人との濃厚接触による感染（飛沫感染、接触感染）も報告されています。咳やくしゃみの症状があり、感染が疑われる患者との接触を回避。

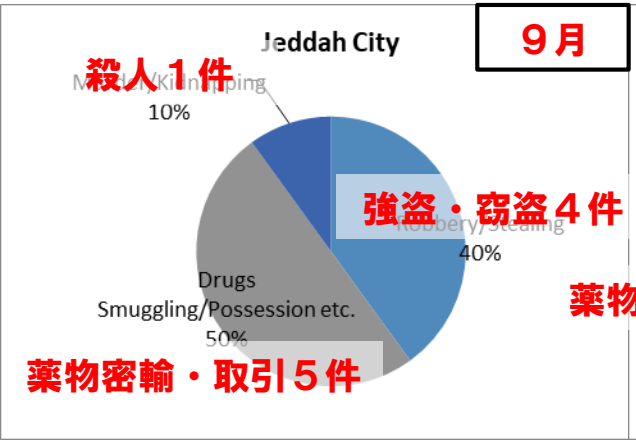
　発生状況：２０１２年から２０２２年１０月までの間にサウジを初めとする中東地域のアラビア半島を中心に、計２７か国から感染者が報告。
　ＷＨＯによるとこれまで累計２６００人の確定例、９３５名の死亡例が報告されており、確定例の８４％はサウジで発生しているので引き続き注意が必要。

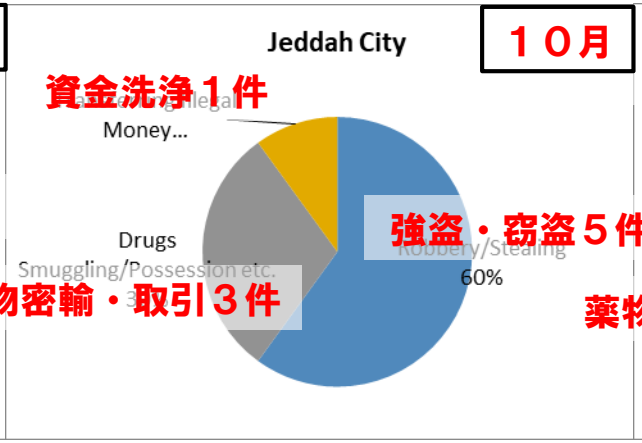
治安情勢

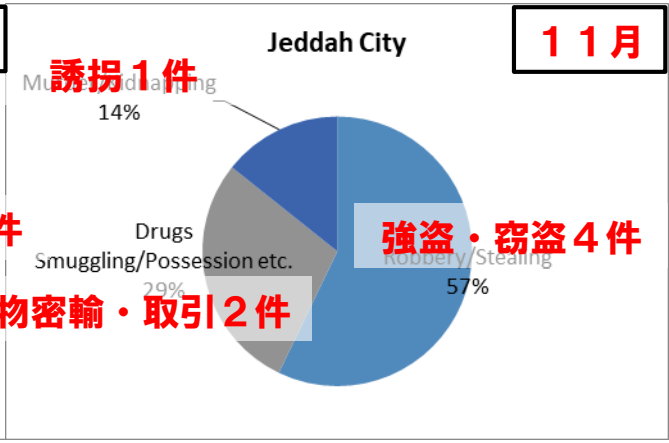
一般犯罪　ジッダ市内

※　毎日の公開情報から当館が独自に集計した情報です。

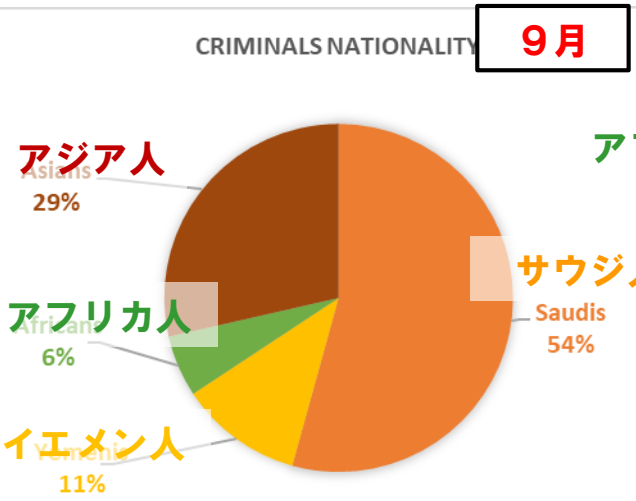
犯罪の種類

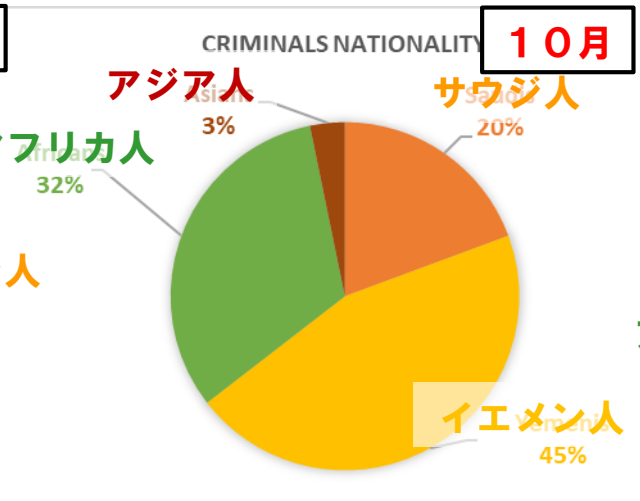


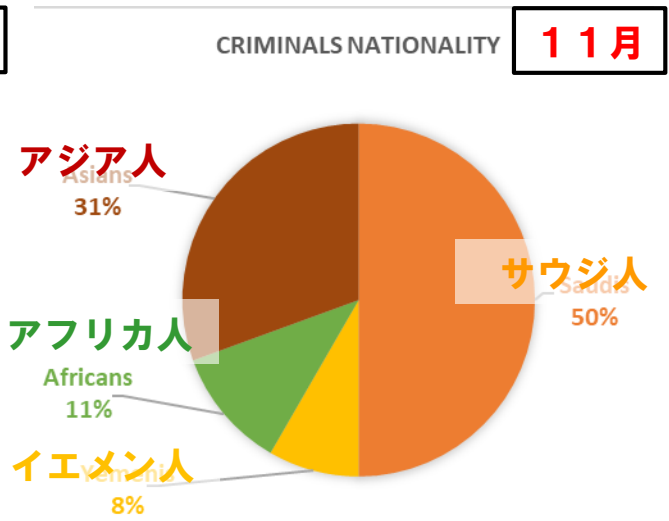




犯罪者の国籍



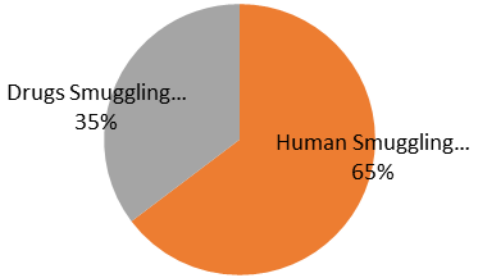




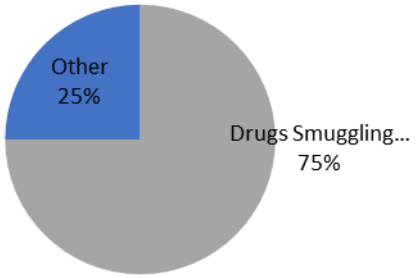
一般犯罪　南部地域（１０月）

犯罪の種類

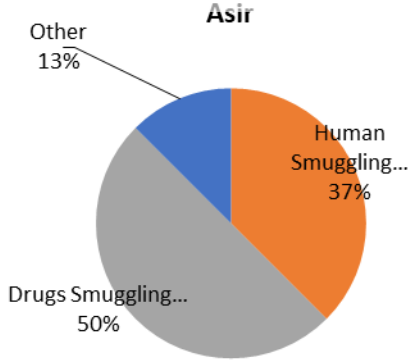
ジャーザーン
Jazan



ナジュラン
Najran



アシール
Asir



アルバハ
Al Bahah

Region	Jazan	Najran	Asir	Al Bahah
Robbery				
Human Smuggling…	11		6	1
Drugs Smuggling…	6	3	8	
Murder / Kidnapping				
Other		1	2	
Capital	Jazan(Jizan)	Najran	Abha	Al Bahah
Estimate Population	1,567,547	582,243	2,211,875	476,172
2010 Population Census	1,374,845	507,106	1,927,087	412,520
Governorates	16	7	16	9

Nationality	Saudis	Yemenis	Africans	Asians
Number of criminals	129	152	137	3

１０月犯罪者数
４２１名

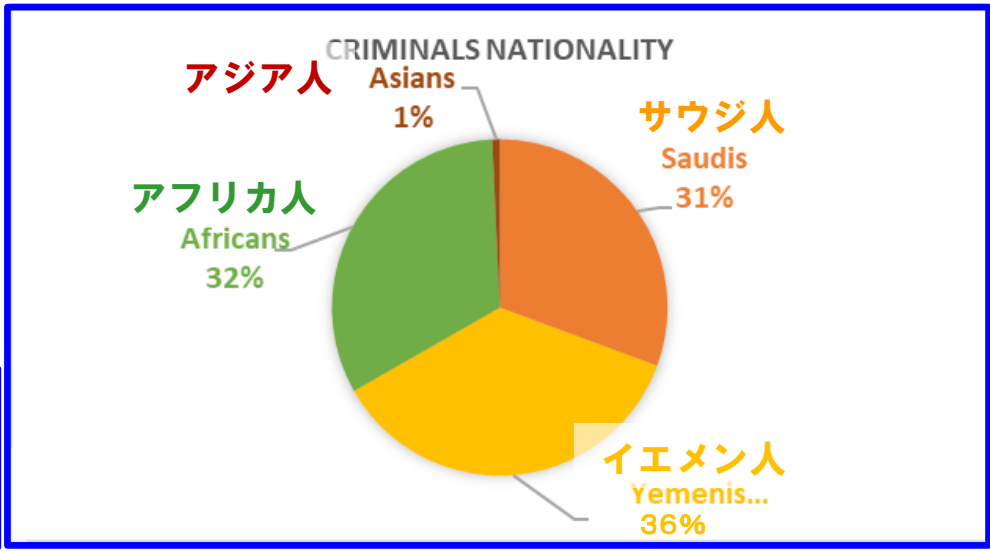
サウジ
１２９人

イエメン
１５２人

アフリカン
１３７人

アジアン
３人

犯罪者の国籍



ジッダにおける自爆事件について

※領事メール８月１２日、１４日発出
　海外安全ホームページ　スポット情報８月１８日

サウジアラビア：ジッダにおける自爆事件の発生に伴う注意喚起
●８月１０日、サウジ治安当局は、ジッダ市内で指名手配者が当局官憲に拘束されようとした際に、身につけていた自爆ベルトを爆発させて自爆し、付近にいた住民１名及び警官３名が負傷したと発表しました。報道によれば、自爆した者は、９名の指名手配者の１名であり、この９名のうち１名は引き続き潜伏中です。
●８月１５日、「イラク・レバントのイスラム国」（ISIL）イエメン州は、自爆犯の死を嘆き、サウジアラビア人に決起を呼び掛ける声明文を公表しています。
●常に最新情報の入手に努め、テロの標的となりやすい場所を避けるとともに、安全確保に十分注意を払ってください。
１　国家安全保障庁（PSS）の発表によれば、８月１０日、ジッダのアル・サーメル地区で、指名手配者アブドッラー・アル・シェフリが当局官憲に拘束されようとした際に身につけていた自爆ベルトを爆発させて自爆し、これにより、付近にいた住民１名及び警官３名が負傷しました。
１２日付の現地報道によれば、自爆したこの指名手配者は、２０１６年にサウジ当局が公表した９名の指名手配者（２０１５年８月のアシール州におけるテロ事件の関係者）の１名であり、また、この９名のうち１名は引き続き潜伏中です。なお、潜伏中の同１名は、１０日にジッダ市内で自爆した指名手配者と同姓であり、その兄弟とみられています。

２　８月１５日、ISILイエメン州のメディア部門「サウト・アル・イーマーン・ワ・アル・ヒクマ」は、ドバイの放送局アフバール・アル・アーンを通じ、自爆したアブダッラー・アル・シェフリの死を嘆き、「二聖都（注：マッカ及びマディーナ）の同胞たち、覚醒して決起せよ」等と、サウジアラビア人に決起を呼び掛ける声明文を公表しています。

ソマリア・イエメン周辺海域における脅威について

海外安全ホームページ　広域情報１０月１８日

ソマリア・イエメン周辺海域における脅威に関する注意喚起

●ソマリア周辺海域では、**海賊等による被害が発生**するおそれがあります。

●イエメン周辺海域では、**イエメンからのミサイル攻撃事案や外国船舶の拿捕事案、ホーシー派敷設の機雷による爆発事案、無人ボートによる攻撃未遂事案などが発生**しています。

●ソマリアやイエメンの周辺海域を航行する船舶の運航事業者及び当該船舶に乗船を予定されている方は、**これらの海域の危険性を十分認識し、最新情報の入手**に努めてください。

近年、ソマリア周辺海域における海賊等事案（注）の発生件数は低い水準で推移しています。

しかしながら、ソマリア国内の貧困や当局による不十分な取締り等、海賊等を生み出す根本的な原因はいまだ解決しておらず、また同海域の海賊は引き続き海賊行為を行う能力があるとされているなど、海賊等による脅威が引き続き存在しています。国際商工会議所（ICC）国際海事局（IMB）の報告書によれば、２０２１年１月１４日、アデン湾を航行中のばら積み船に武器とハシゴを搭載した小型ボートが接近する未遂事案が発生したとのことです。

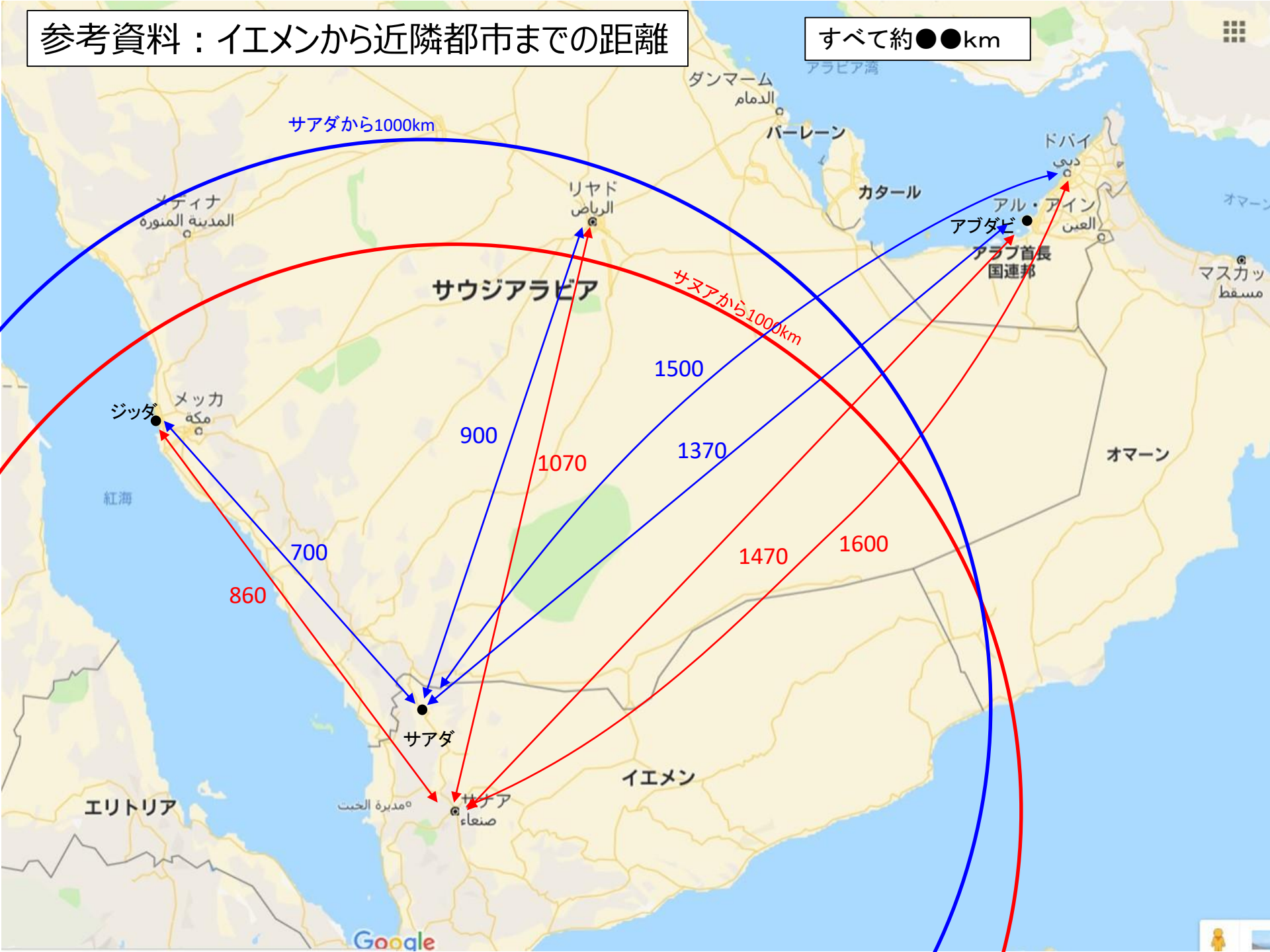
これらの脅威に対処するため、防衛省・自衛隊は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動を継続しています。

ホーシー派の状況について

本年４月２日に停戦合意
１０月２日以降停戦合意延長がなされていない中、本日現在ミサイル・ドローンによる越境攻撃の事案には接していない。しかしながら、**いつ攻撃が再開されるか不透明かつ依然脅威は存在しているため警戒が必要。**

最近の当地に対する主な攻撃事案
・２０１９年９月１４日　サウジ東部アブカイクとフライスの石油プラントへのドローン攻撃
・２０２０年１１月２３日　ジッダアラムコ石油施設への攻撃火災
・２０２１年４月２７日　ヤンブー沖でサウジ海軍が爆発物搭載の無人水上艇を破壊との報道
・２０２２年３月２０日　ジッダアラムコ石油施設へのミサイル攻撃、市内上空にて大きな爆発音が確認され数発のミサイルを迎撃
・２０２２年３月２５日　ジッダアラムコ石油施設へのミサイル攻撃炎上、ジャーザーン発電所のドローン攻撃炎上

※　引用ソース：ツイッター


参考資料：イエメンから近隣都市までの距離
すべて約●●km
サアダから1000km
サヌアから1000km
サウジアラビア
イエメン
オマーン
エリトリア
紅海
アラビア湾
ダンマーム
الدمام
バーレーン
カタール
ドバイ
دبي
アブダビ
アル・アイン
العين
アラブ首長国連邦
マスカット
مسقط
リヤド
الرياض
メディナ
المدينة المنورة
ジッダ
メッカ
مكة
サアダ
サナア
صنعاء
مديرة الحبت
1500
900
1070
1370
700
860
1470
1600
Google

ホーシー派の軍事パレード

９月サヌア、ホデイダで実施された軍事パレードの様子

※　引用ソース：ＹｏｕＴｕｂｅ

ホーシー派はミサイル・ドローンなど様々の兵器を保有している。
飛んできたミサイル、弾丸の破片は約３００m以上飛散する可能性があり、１つ体に命中するだけで致命傷。
上空に噴煙、突然聞き慣れない飛翔体による異音、近くにミサイルが落ちたり、大きな爆発音を聞いたら・・・
伏せる！　※音が聞こえた方向（弾着地点）と反対側に頭を向け、地面に接するくらい低い姿勢。
逃げる！　※伏せながら周囲を見回し、現場の状況を見て瞬時に逃げる・隠れる方向を決める。
隠れる！　※物陰、遮蔽物、安全な建物に隠れる。

このイメージができているのとできていないでは生死に大きく影響。

※　引用ソース：ＹｏｕＴｕｂｅ

おわりに　～今後への備え～

○海外に在住していることを認識し、当地情勢に日々アンテナを立て情報収集・共有につとめる！

テロは世界中で起きている・・・
まずはマニュアルを読んで、対策を見直すことだ・・・
新ストーリー（番外編）は・・・こっちだ

○安全のための三原則

1　**目立たない。**
　外出の際の服装にも気をつける。

2　**行動を予知されない。**
　通勤経路のパターン化は避ける。

3　**用心を怠らない。**
　定期的にオフィス・自宅の安全対策の見直し・強化。
　車に乗ったら施錠。
　会社の鍵がパスワード式であれば定期的に変更する。

○不測事態への備え

　万が一、不測事態に遭遇したら、基本は**【伏せる・逃げる・隠れる】**
伏せたら【逃げる・隠れる】を瞬時に判断して実行することが大切です。